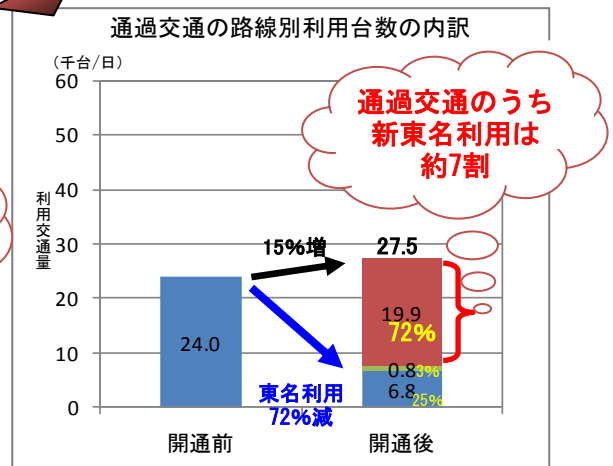
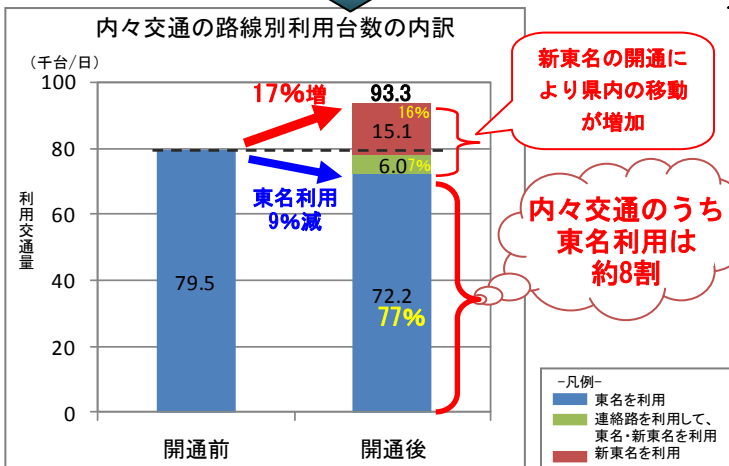
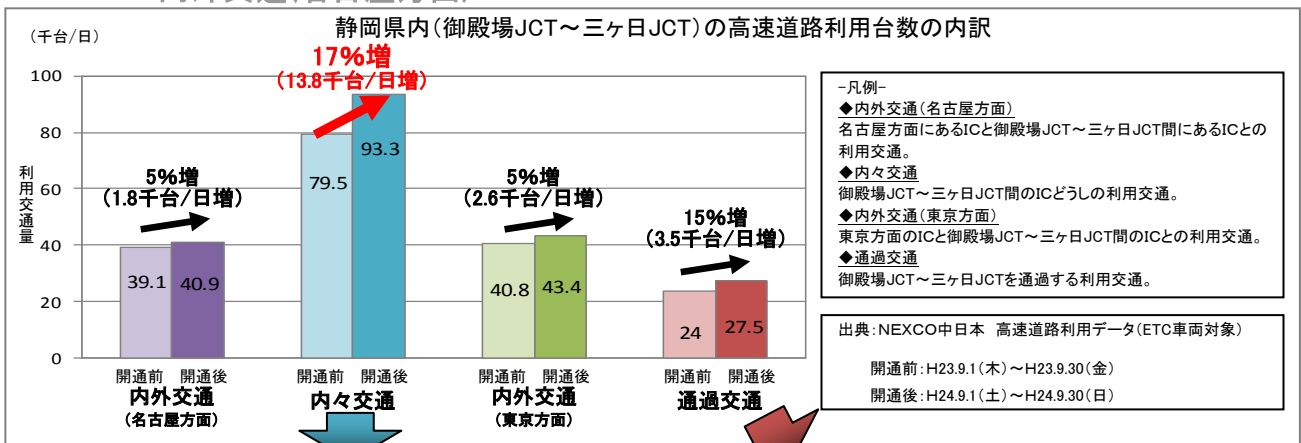
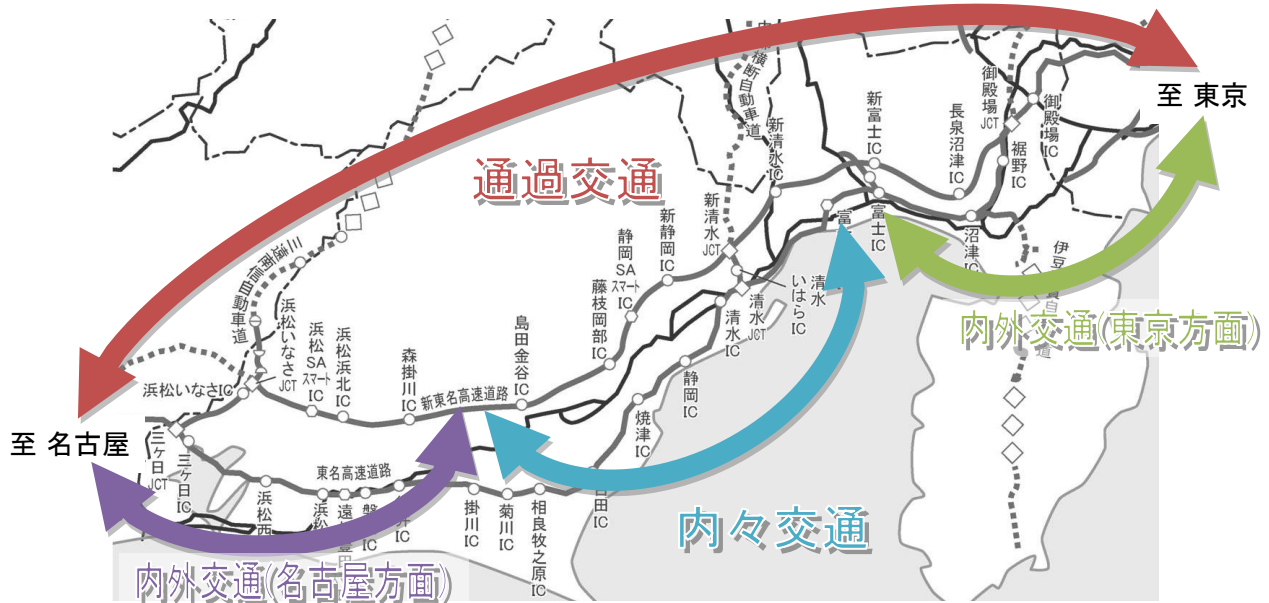


1. 新東名開通による静岡県内の高速道路の交通動向の変化

- ・新東名開通後の静岡県内の高速道路の交通動向を確認したところ、通過交通のうち約7割が新東名を、内々交通のうち約8割が東名をそれぞれ利用していました。主に県内を通過する移動には新東名が利用され、県内の移動には東名が利用されるといった各路線の役割分担が明らかになりました。
- ・昨年同時期との比較では、高速道路を利用した内々交通が17%増加しました。これは、県内の移動にも新東名が利用されていることによるものであり、新東名開通により県内の移動の活性化が図られているものと思われます。

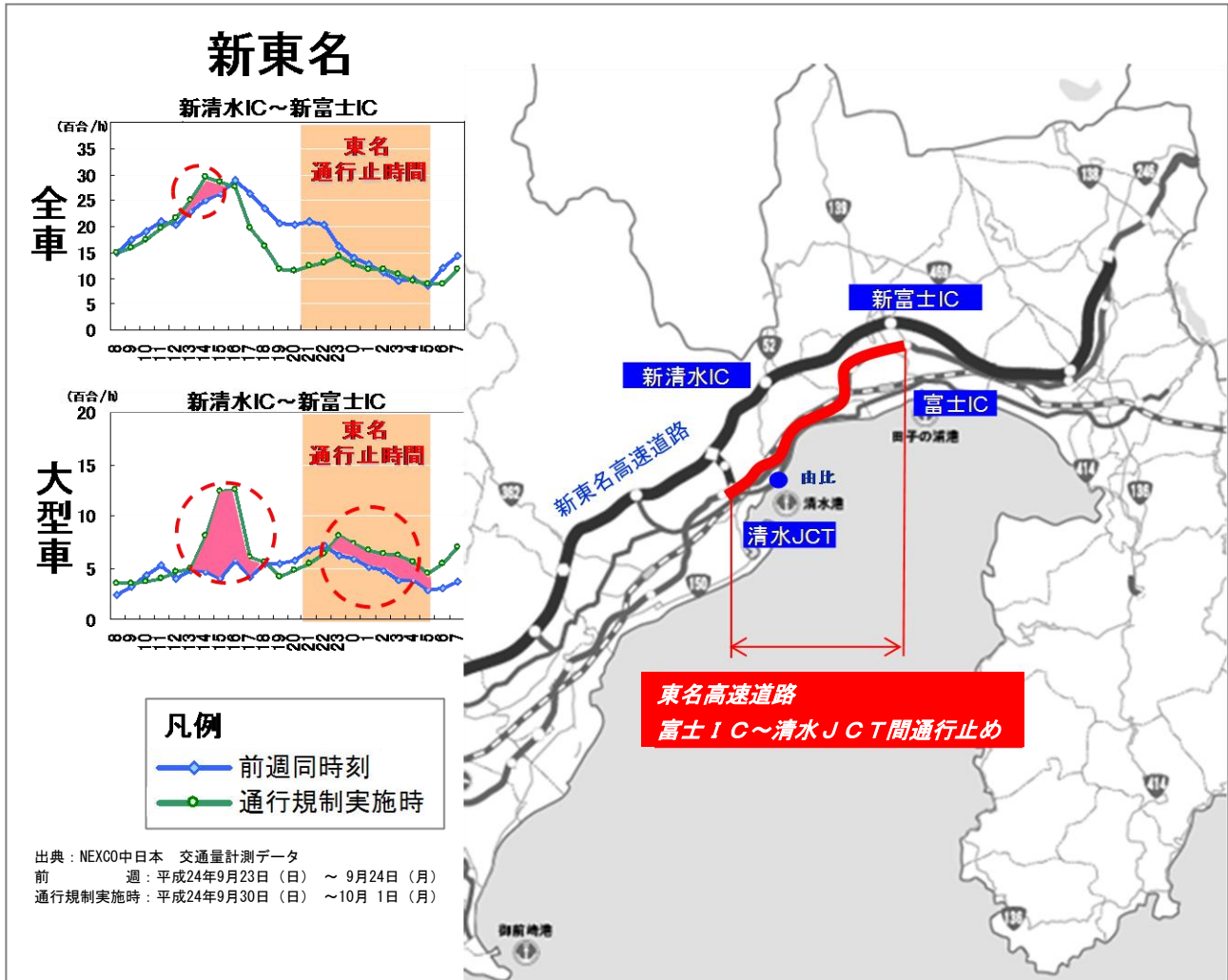


2. 東名通行止め時にダブルネットワーク効果が発現

- ・ 9月30日～翌10月1日に発生した台風17号による東名の通行止め（21時～翌5時）では、通行止めが始まる前の早い時間帯から新東名への転換傾向がありました。特に大型車では、転換傾向が顕著でした。
- ・ 新東名を迂回利用した企業へのヒアリングでは、ダブルネットワーク効果を実感する声がありました。

平成24年9月30日～翌10月1日

東名 富士IC～清水JCTで台風により通行止めが発生



東京方面から新東名へ迂回して、通常通りの時間に競りができた。（静岡市 花卉卸市場）

早め早めに対応して、新東名ルートで問題なく搬送することができた。（磐田市 惣菜会社）



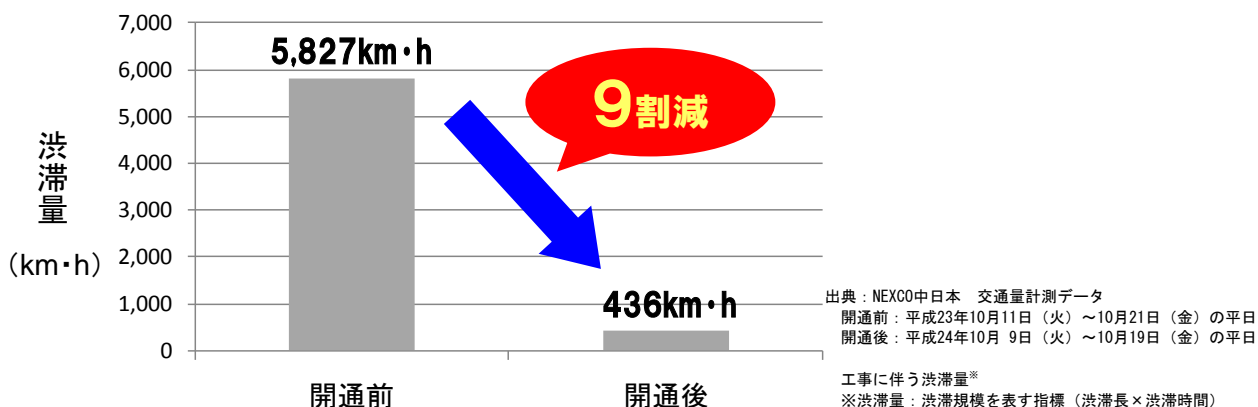
出典：国土交通省中部地方整備局

静岡国道事務所ヒアリング

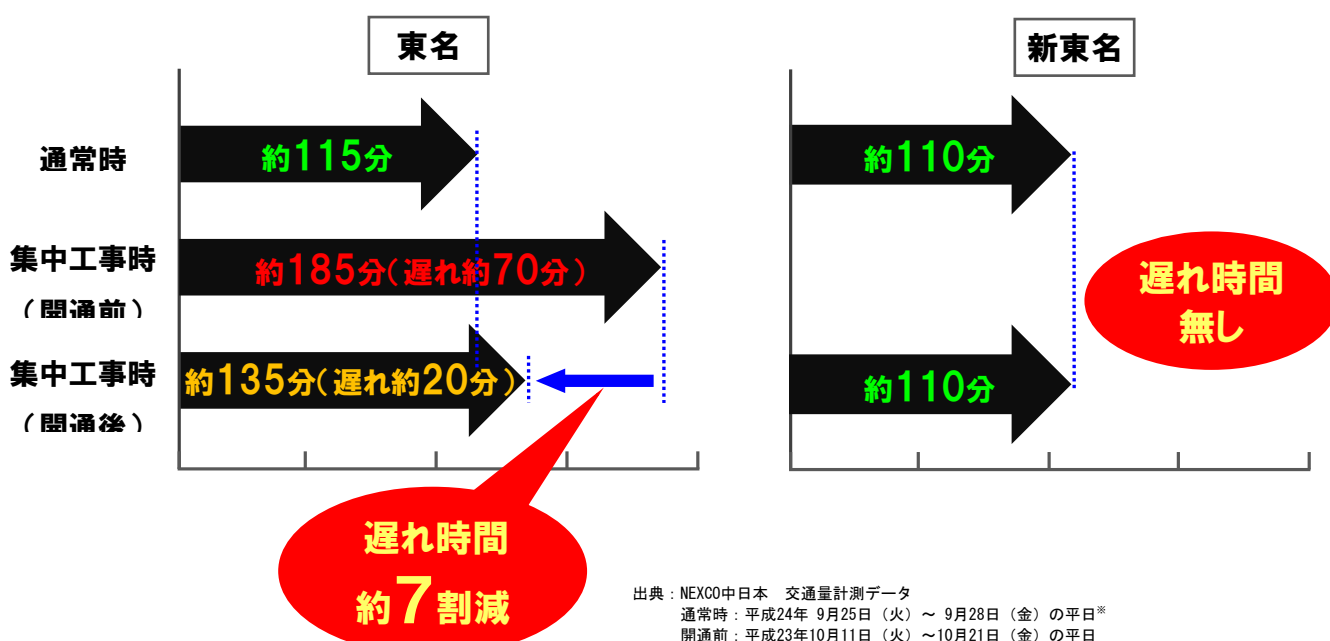
3. 東名集中工事期間中にダブルネットワーク効果が発現

- 東名集中工事期間中の御殿場 JCT～三ヶ日 JCT間の渋滞量は、開通前と比較すると、約9割減少しました。
- 東名集中工事期間中の東名 御殿場 JCT～三ヶ日 JCTの平均所要時間は、開通前は、約70分の遅れが発生していたのに対して、開通後は、約20分の遅れにとどまり、平均所要時間の遅れは、約7割減少しました。一方で、新東名の平均所要時間に遅れは発生しませんでした。
- 東名集中工事期間中の東名・新東名・中央道を合計した高速道路利用交通量の減少率は、20%減から7%減に縮小しました。新東名開通によるダブルネットワーク効果で、高速道路利用の回避や中央道への迂回が減り、東名集中工事期間中に高速道路をご利用される方への影響が低減されました。

■御殿場 JCT～三ヶ日 JCTの渋滞状況

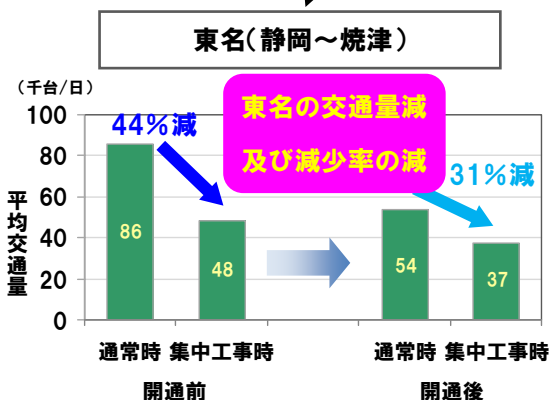
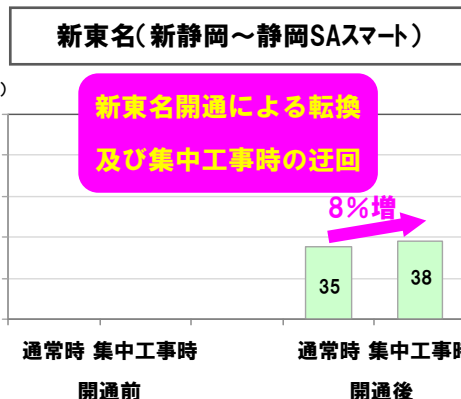
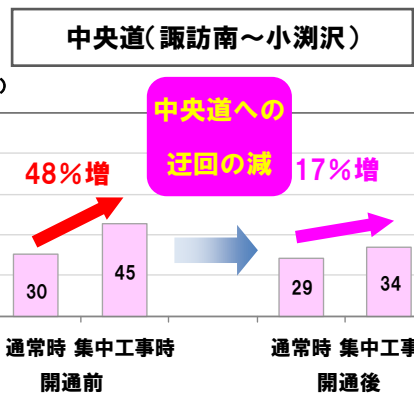
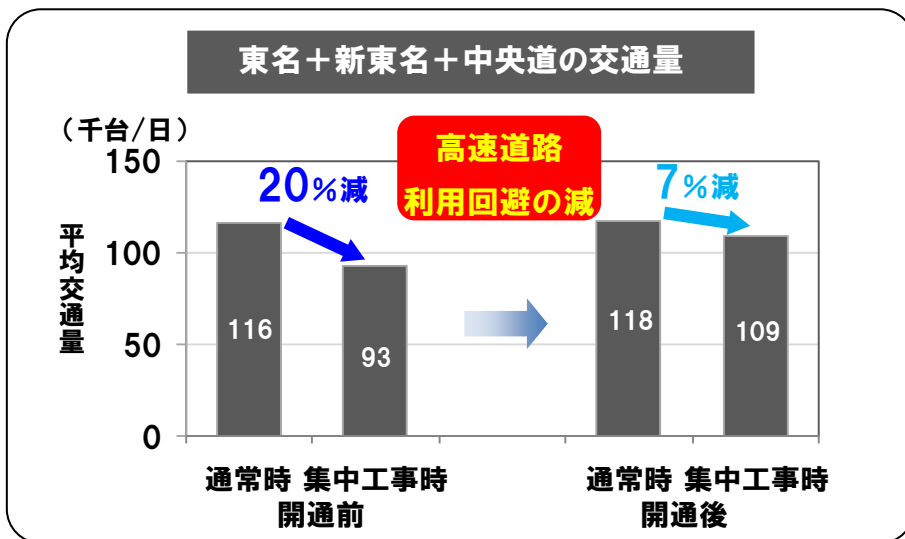


■御殿場 JCT～三ヶ日 JCTの平均所要時間



※通常時の平均所要時間は10間を80km/hで走行した場合の所要時間としている。

東名集中工事期間中の高速道路の交通量の変化



出典：NEXCO中日本 交通量計測データ
 開通前 通常時：平成23年 9月27日(火)～ 9月30日(金)
 開通前 集中工事時：平成23年10月11日(火)～ 10月21日(金)の平日
 開通後 通常時：平成24年 9月25日(火)～ 9月28日(金)
 開通後 集中工事時：平成24年10月 9日(火)～ 10月19日(金)の平日

周辺施設への影響



今年の東名集中工事では、渋滞が少なかったため、ご予約のお客さまが、予定時間に対して大幅に遅れるような事象は無く、非常に助かった。(焼津市 さかなセンター)

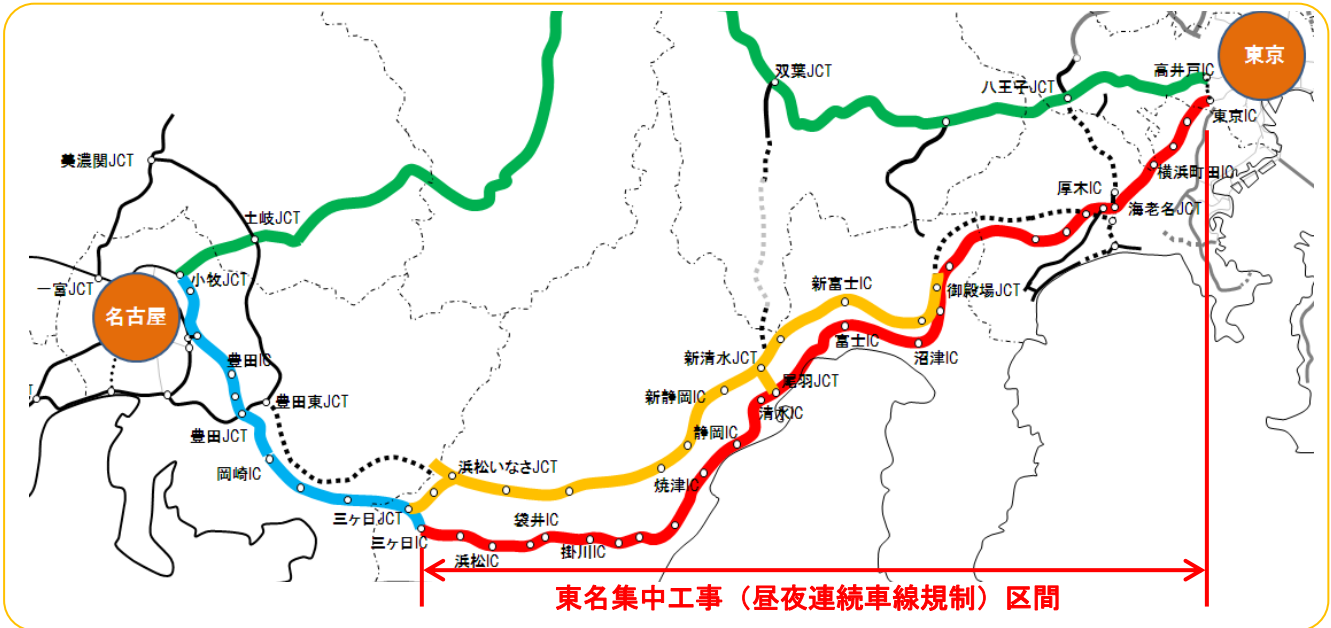
出典：国土交通省中部地方整備局
 静岡国道事務所ヒアリング

■ (参考) 東名集中工事 (昼夜連続車線規制) の概要

○平成24年度

日時：10月9日(火)～10月19日(金)の土日を除く9日間

実施区間：東京IC～三ヶ日IC



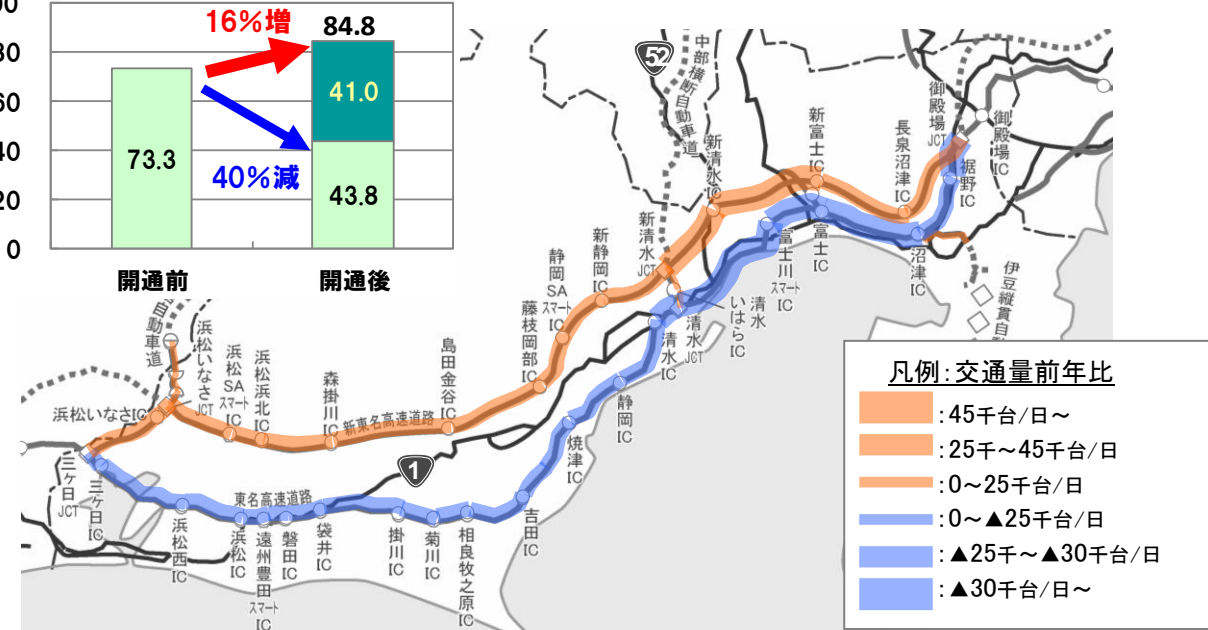
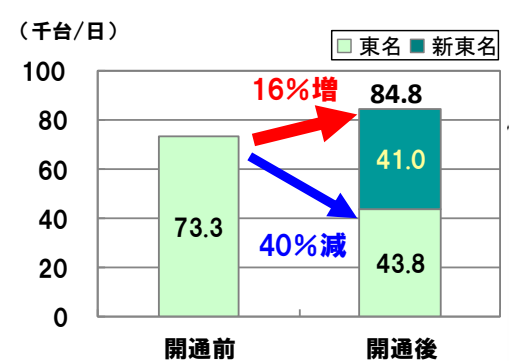
○平成23年度

日時：10月11日(火)～10月21日(金)の土日を除く9日間

実施区間：東京IC～豊田IC

■ (参考) 新東名開通後6ヶ月間の平均交通量 (全日)

平成24年10月18日
記者発表資料より抜粋



出典：NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
(御殿場JCT～三ヶ日JCT間の交通量を集計)
開通前：平成23年4月17日(日)～10月16日(日)
開通後：平成24年4月15日(日)～10月14日(日)